

2024

7・7 (日)



9・8 (日)

あぼるまん時カ八合

企画展

で見つけた
諏訪

「星の和名」

で発見された
信州
新天体

「星の名前と市民科学」

会場 茅野市八ヶ岳総合博物館 (長野県茅野市豊平 6983)

料金 通常入館料 (大人310円, 高校生210円, 小中学生150円)

休館日 月曜日 (祝日の場合は開館), 祝日の翌日

主催

茅野市八ヶ岳総合博物館, 長野市立博物館, 長野県は宇宙県連絡協議会

NIHU 広領域連携型基幹研究プロジェクト国立国語研究所ユニット「地域における市民科学文化の再発見と現在」

諏訪で見つかった「星の和名」、信州で発見された新天体 - 星の名前と市民科学 -

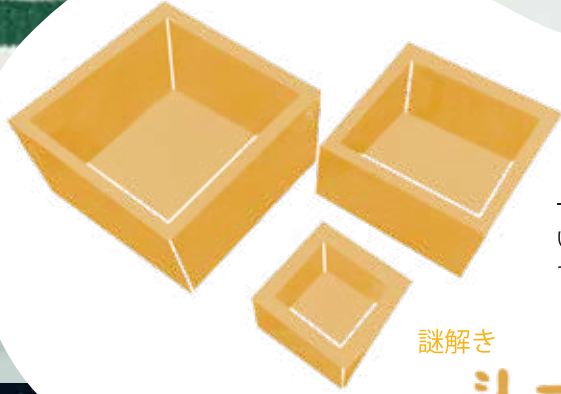
星につけられた古来の和名は、農作業や漁業、暮らしの道具などにちなんだものが多く、生活の変化とともに急激に失われつつあります。大正から昭和期にかけて星の和名を収集し大成した英文学者・天文民俗学者の野尻抱影と、関わりのあった諏訪の人物について取り上げます。

一方、天文学の分野では1919年の国際天文学連合（IAU）設立以降、新天体命名は国際的な取り決めのもと行われています。彗星・小惑星・新星発見における市民科学者の貢献は歴史的にみても非常に大きく、天体命名からこれを明らかにするとともに、近年、天文学ビッグデータを扱う新たな局面を迎えて期待されている市民科学者像を探ります。

すばるまん時粉八合

プレアデス星団（すばる）が空高く見えるころ（まん時）に、ソバをまけば、一升の種で八合の粉が取れるほど、たくさん収穫できるという意味。農作業の時期を教える俚諺（ことわざ）。

soba-no-mi



一合、五合、一升…。
いろいろな大きさの枡で量ってみよう。

謎解き

一斗二升五合

意味わかる？！

諏訪ではじめて見つかった

イッショボシ ツリガネボシ

野尻抱影（1885-1977）が初めて出会った星の和名は、諏訪地方で使われていたものでした。おうし座のプレアデス星団とヒアデス星団のことを表しています。

プレアデス星団

ヒアデス星団

信州ゆかりの 名前がついた 小惑星

Yatsugatake（八ヶ岳）、
Kiso（木曾）、
Ontake（御嶽）、
Daitarabochi
（ダイタラボッチ）など



1993年に発見された小惑星 Fujimimachi（富士見町）
画像提供：平澤正規、鈴木正平（入笠山天体観測所）

信州の美しい星空は天体観測に適しています。長野県内で発見された彗星や新星、信州にゆかりのある名前がついた小惑星など紹介します。

採用された

冥王星

1930年1月、海王星の外側をまわる天体が発見されました。太陽系第9惑星として世界中に知れ渡り、ローマ神話の冥府の王にちなんで「Pluto（プルートー）」と命名されました。日本国内でこれを「冥王星」を呼ぶことを提案したのが野尻抱影でした。



天文年鑑 1930年版は発見前に出版された。
1931年版には「冥王星」について書かれている。



VR体験

Credit: NASA/JPL-Caltech

期間限定
7/13 ~ 8/12

ゴーグルをつけて
火星の様子をみてみよう。

イメージ画像 ※体験映像と異なる場合があります。



茅野市八ヶ岳総合博物館
〒391-0213 長野県茅野市豊平 6983
TEL 0266-73-0300 / FAX 0266-72-6119
<https://www.city.chino.lg.jp/site/y-hakubutsukan/>



展示内容

- 星になった民具：暮らしの道具と星々
- 星の和名収集：野尻抱影と諏訪の市民科学者
- 天体に関する言葉の言語地図
- 星と星座とアステリズム：IAUによる取り決めと国内での広がり
- 天体発見と命名：天体観測と市民科学
- 現代の市民科学